

## 令和4年度第9回士別市教育委員会会議録

1. 日 時 令和4年10月31日(月)午後1時33分～午後3時00分
2. 会 場 教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 中 峰 寿 彰 生涯学習部長 三 上 正 洋  
職務代理者 馬 場 千 晶 学校教育課長 須 藤 友 章  
委 員 山 田 敦 久 合宿の里・スポーツ推進課長  
委 員 多 田 千 鶴 坂 本 英 樹  
社会教育課長 武 山 鉄 也  
学校教育アドバイザー 石 橋 克 敏
- 欠席 加 藤 洋 之 委員

### 4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

#### 1 辞令交付

令和4年10月29日付で再任された馬場千晶教育長職務代理者に対し、中峰教育長から辞令を交付、その後、馬場職務代理者から挨拶があった。

#### ○馬場職務代理者

思いがけず5期目の任期を迎えることとなった。4年間精一杯努めるのでよろしく願います。

#### 2 文部科学省研修生紹介

本日から本市で「教育行政・学校教育等実務研修」を行う光地優作さんから挨拶があった。

#### ○光地研修生

文部科学省に入省し3年目だが、実際の教育現場を見せていただき、今後の糧としたい。よろしく願います。

#### 3 教育長挨拶

10月26日には上川管内教育委員会連合会の教育委員研修会が開催された。研修会としては3年ぶりに開催されたところだが、出席者は全体の7割程度であった。私のほかに馬場職務代理者、加藤委員も参加し、北海道教育大学岩見沢校の山本理人キャンパス長による「部活動の地域移行」をテーマとした講演を聴講してきた。山本氏からは「地域移行」という表現は違うのではないかとの話があったほか、部活動については、地域ごとに事情も異なり、指導者の確保など難しい決して答えは一つにならないとの話があった。本市ではサッカー部がクラブチーム化されており、他の種目と違いがある。地域移行に向けては、ステークホルダーとなる人たちの意思統一、外部指導者に対する報酬の財源確保、教員の兼職兼業手続などの課題がある。北海道のモデル事業を実施していた紋別市では、運動部の地域移行が頓挫したと報道されているが、関係者による意思統一が図られなかったことが原因だったとのこと。山本氏は本市での「総合型スポーツクラブ」の設立に関わってのことなども知っている方だった。講演終了後に、指導者へのギャランティーの設定も課題であるほか、子どもたちに色々な機会や他種目のスポーツに取り組む場面を与えることが必要との意見も伺った。道外ではあるが茨城県つくば市では受益者負

担による部活動地域移行がスタートしている。機会があれば本市に山本氏を招いて、詳しい話を聞いてみたいとも思っている。

予算決算常任委員会については、10月27日と28日に決算審査が行われた。決算に関わることだけではなく施策等の本質的な部分に関する質問もあった。財政健全化実行計画に関する質問もあったが、今後、一般質問などの機会に改めて通告されるのではないかと。11月1日には臨時会が開催される予定である。

また、明日は令和5年度予算編成に関する説明会が開催される。本年は提出期限が約1ヵ月早まっているが、必要な予算についてはしっかり要求していく考えである。

新型コロナウイルス感染症については、近隣市町村でも増加傾向にあり、「第8波」ともいえる状況となっている。国では全数把握の方針を転換したほか、検査方法等も変更され、正確に陽性者数を確認することが難しくなった。

本日もよろしく願います。

#### 4 議事について

##### ○中峰教育長 進行

議案第22号 「士別市における令和4年度全国学力・学習状況調査の結果等の分析」について説明を求める。

##### ○石橋アドバイザー

(別紙資料に基づき説明)

結果として、北海道全体では例年より悪かったが、本市の結果としては良かった。テストの内容が見直され、問題数自体は減少しているため、全国平均に届かなかった教科でも、差はわずか一問程度である。ICT端末を使用して思考する力のみならず、ものを書く力も重要であるため、地道に指導を行う必要がある。子どもたちが問題を理解して答える必要があり、知識だけではなく、生活の中で体験して覚えていかなければならないこともある。

##### ○中峰教育長

理科の成績が特に良いのは、自然豊かな地で育っていることも要因ではないか。また、数学の文章問題では、その文章を見ただけで構えてしまっているようだ。

元々、上川管内は成績の良い地区であるが、昨年・一昨年はあまり良い結果ではなかった。こうしたなかで、本年の結果が上がっており、上川教育局では「一昨年はコロナ禍で十分にできなかった授業が、昨年からはある程度きちんと行われとことによるものではないか。上川の授業力の高さを示すものではないか。」と分析しているようだ。一方で、個人的には子どもたちの自己有用感がまだまだ低いと感じている。

##### ○山田委員

子どもたちは素直でいい子ばかりである。一方で、外に出た時は肯定感がなく自信がもてない様子が気にかかる。

##### ○多田委員

今の子どもたちは時間に追われているという印象がある。勉強と部活の両立は難しいと思うが、相変わらずテスト前に一夜漬けしているということも多いようである。教師も忙しいだろうが、もっと子どもたちとの時間を作ってもらえたらと思う。

##### ○馬場職務代理者

文章を読むことが非常に重要である。テストの問題は全て日本語で記載されている。何を聞かれているか読み解く力が必要になる。

○中峰教育長

学校祭での頑張りや達成感を自信にしてもらいたい。本来、入試は厳しいものだが、最近は倍率が下がり、1倍を切るなどの状況のためか、中学生の学習時間が小学生よりも短いことも気になる。

○馬場職務代理者

確かに高校進学は義務教育の延長のようにも思える。

○中峰教育長

問題文の中には解答を導き出す際に必要のない部分も含まれているが、子どもたちは、それらに惑わされている場合もあるとのこと。

学力・学習状況調査の分析について、文言や内容の修正があれば、4日までにお知らせ願う。

○山田委員

今後、ICT 端末を使用して調査を行うようになるのか。

○石橋アドバイザー

令和6年度頃には導入されるようだ。

○中峰教育長

来年度は英語の「話すこと」の調査がオンラインで実施される。

○山田委員

そうなると、操作が苦手な子は不利になるのでは。

○石橋アドバイザー

入力には個人差が出てしまう。

## 5 その他

◇当面する今後の日程について

三上部長説明。

○中峰教育長

北海道と札幌市立学校の教員選考に関するオンライン会議が開催され、本市でも受入れ対応している「草の根教育実習」について評価する声があった。以前から行われていた「へき地教育実習」は、北海道教育大の生徒によるものであるが、草の根実習は教育大以外の学生も体験できる貴重な機会となっている。本州から北海道の大学に進学し、教員をめざす学生のほとんどは札幌以外の地方の自治体で働きたいとの思いがあるようだ。

午後3時00分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 中峰 寿彰

会議録調整者 須藤 友章